



町勢要覧 2022

A O M O R I O M A

概要版

大間町



# VIVA!! Oma Town!! 80th Anniversary



## CONTENTS 目次

町長メッセージ	2
歴史・沿革	3
大間町の四季	9
祭り／文化	10
観光・イベント	11
学校・教育	12
行政・議会	13
町民憲章・町の鳥花木	14



## MESSAGE 町長メッセージ

この要覧は町制施行80周年を記念し、大間町の歩み、現在の姿、そして未来に向けて羽ばたく姿を、広く町民の皆さまに知っていただくために刊行したものです。

近年では令和3年8月及び令和4年9月の豪雨災害、また、令和2年から続き未だ終息が見えない新型コロナウイルス感染症により、町民の日常生活に影響が及んでいるところです。こうした課題も踏まえ「安心、安全で笑顔満開の町づくり」を目指してまいりますので、今後も更なるご支援、ご理解をいただければ幸いです。

大間町長 野崎 尚文



昭和39年 フェリー待ちのトラックの列



過去

昭和39年～ 大函丸運航



昭和63年～ ばあゆ運航



現在

平成25年4月 大函丸初就航



過去

初期の消防車①



初期の消防車②



現在

平成25年5月～ 水槽付消防ポンプ自動車



過去

昭和20年代 昔の役場庁舎



～平成30年9月(築88年) 以前の役場庁舎



現在

平成30年9月25日 新庁舎開庁



過去

以前の大間町商工会



平成29年3月 大間町商工会館完成記念式典



現在

大間町商工会館



過去

昭和20年代の大間崎



昭和40年代の大間崎



現在

現在の大間崎

## 学校の歴史



昭和45年閉校 奥戸小学校材木分校



過去

昔の大間小学校



現在

平成21年～ 大間小学校



過去

昔の奥戸小学校



過去

昔の大間中学校



現在

平成5年～ 大間中学校



現在

昭和52年～ 奥戸小学校



過去

昔の奥戸中学校



現在

令和3年閉校 奥戸中学校

大間町〔沿革〕		
1942	昭和17年11月 3日	■ 旧大奥村、大間町として町制を施行（県内29番目）。
1943	昭和18年10月	■ 奥戸春日神社、御神燈献納。奥戸崇徳寺焼失。翌19年再建。
1945	昭和20年 2月26日 7月14日	■ 大間・浜町通繁華街が大火（67戸焼失）。
	8月15日	■ 函館、下北地方に米戦闘機による空襲。翌日にかけて被害甚大。特務艦「豊国丸」大間沖で爆撃を受け沈没。大間では死者7名、建物全壊36戸、大間灯台全壊などの被害をうける。
	8月15日	■ 戦争終結。日本無条件降伏。
1947	昭和22年 4月 1日	■ 新制中学校発足。国民学校が小学校に復す。管内小中学校創立する。
1948	昭和23年 4月 1日	■ 新制高等学校発足。田名部高校大間分校開校（定時制）。
1949	昭和24年 4月18日	■ 大間漁協総会（5月2日に県内初認可、5月15日に奥戸漁協認可）。
1950	昭和25年 5月21日	■ 大間港が地方港湾に指定される。
1951	昭和26年11月24日	■ 奥戸港第一種漁港に指定される。
1952	昭和27年10月 6日	■ 材木港第一種漁港に指定される。
1953	昭和28年 1月18日	■ 大間漁協、沿岸漁業不振対策として沖合漁業への転換促進のため、いか釣船4隻の導入を図る。
1954	昭和29年 9月26日	■ 台風15号で、青函連絡船洞爺丸が座礁転覆。わが国最大の海難事故。町も甚大な被害を受ける。
1955	昭和30年 2月15日	■ 下北一円のカモシカ（青森県全域）特別天然記念物指定。
1956	昭和31年 1月 6日	■ 大間漁協、下北郡漁業協同組合連合会に加入。
1957	昭和32年 1月 6日	■ 大間漁協、県水産製品検査場の指定。
1958	昭和33年11月16日	■ 田名部高校大間分校創立10周年祝賀会
1960	昭和35年 3月29日 6月 1日	■ 大間漁協のアワビ畜養所に稚貝9,600個放殖。
	6月 1日	■ 大間町国民健康保険大間病院開設。
1961	昭和36年 2月 4日	■ 大間漁業協同組合婦人部結成。
1962	昭和37年 3月28日 6月 1日	■ 大間町奥戸で大火、中心街95棟、72世帯が全焼。
	6月 1日	■ 広報大間、発行される（ガリ版刷）。
	11月29日	■ 大間漁協でのり養殖試験開始。
1963	昭和38年 1月16日	■ 突然の猛吹雪により遭難船続出。大間・奥戸漁協に犠牲者をはじめ漁船などに甚大な被害が起きる。
	5月30日	■ 過去45年間操業してきたアワビさし網、漁獲高低下のため禁漁へ。
1964	昭和39年 1月18日 7月 2日	■ 上水道事業開始。
	7月 2日	■ 日本初の外洋フェリーボート、大間・函館間に就航。
	11月17日	■ 大間漁協、組合広報活動のため有線放送施設を竣工。
1965	昭和40年 5月	■ 大間牧場を開牧する。
1966	昭和41年 8月 1日	■ 大間町の町章と町旗を制定する。
1967	昭和42年11月 1日	■ 「むつはまなすライン」（野辺地・むつ・大間）の開通。
1968	昭和43年 5月16日 7月20日	■ 十勝沖地震発生。県内で甚大な被害があった。
	7月20日	■ アポロ11号、人類初の月面着陸。
	7月22日	■ 「下北半島国定公園」が正式指定、大間崎及び弁天島も入る。
	9月 1日	■ 大間牧場へ繁殖牛ヘレフォード80頭を購入し、繁殖センター事業開始。
1970	昭和45年 8月22日 12月	■ 「むつはまなす」完全舗装が完成。祝賀パレード。
	12月	■ 日本モンキーセンターで、北限のサル越冬調査、大間に三郡のサル生息確認。
1971	昭和46年 4月 1日 6月17日	■ むつ市に1市3町4村の一部事務組合下北医療センター発足。
	6月17日	■ 沖縄返還協定調印式。
	6月30日	■ 大間町と戸井町との姉妹町締結。
	8月 4日	■ 大間漁協、事務所新築落成式典。
1972	昭和47年11月 3日	■ 町制施行30周年記念式典。
1973	昭和48年11月 3日 12月 9日	■ 大間小創立100周年記念式典を行う。校歌制定。
	12月 9日	■ 下手浜漁港開港。
1974	昭和49年 4月 1日	■ 大間町体育協会設立。
	4月 1日	■ 奥戸保育所開所。
1975	昭和50年 4月 1日 4月30日	■ 県立田名部高校大間分校、県立大間高校に昇格する。
	4月30日	■ ベトナム戦争終結。
	8月 4日	■ 大間のマグロー一本釣りがNHKテレビで放映される。
1976	昭和51年 4月 6月 1日	■ 町商工会、町議会に原発に係わる環境調査を求める請願書を提出。
	6月 1日	■ 町で、原発調査室を発足する。
	10月11日	■ 全世帯で町内会を設立。
1977	昭和52年 2月14日	■ 40年ぶりの大雪により交通マヒが発生。

1977	昭和52年 6月29日	■ 大間消防分署新築工事完成。
1978	昭和53年 3月25日 6月	■ 下手浜保育所新築落成する。
	6月	■ 大間町総合計画審議会が発足する。
1979	昭和54年10月10日	■ 中華民国台湾省雲林縣虎尾鎮と姉妹都市締結する。
1980	昭和55年 1月29日 4月 9日	■ 大間町勤労青少年ホーム落成する。
	4月 9日	■ 大間幼稚園開園。
	12月25日	■ 大間町農業研修センター（豊栄館）落成記念式典。
1981	昭和56年 6月 5日 8月12日	■ 姉妹町・虎尾鎮 親善使節団来町。
	8月12日	■ 大間温泉養老センター開業。
	9月 1日	■ 国道279号線大間バイパス全線開通。
1982	昭和57年 6月16日 8月 5日	■ 町制施行40周年記念の一環として町民憲章と町の花木鳥を制定する。
	8月 5日	■ 町制施行40周年記念式典、海峡保養センター、町総合開発センター落成。
1983	昭和58年 3月16日 6月	■ 大間に新型転換炉建設を決定。
	6月	■ 松竹映画「魚影の群れ」撮影スタート。大間町でロケを行う。
	7月16日	■ 電源開発(株)が大間町に原子力調査所を設置。
1984	昭和59年12月18日	■ 第4回定例議会で、原子力発電所の誘致を決議。
1985	昭和60年 9月14日	■ 武内たかさん（105歳）が青森県で最長寿となる。
1986	昭和61年 7月20日	■ 第1回交通安全駅伝大会が開催される（後のはまなす駅伝）。
1987	昭和62年 8月12日	■ 第1回舟競争大会、半世紀ぶりに大間港で復活。
1988	昭和63年 3月31日 7月 1日	■ 世界最長の青函トンネル、津軽海峡線開通。
	7月 1日	■ 大間・函館間に新造船「ばあゆ」就航。
1989	昭和64年 1月 平成元年 4月28日	■ 大間崎公衆トイレ完成。
	平成元年 4月28日	■ 青少年赤十字に加盟（奥戸小・奥戸中）。
	10月30日	■ 北通り6漁協連絡協議会発足。
	11月25日	■ 奥戸小学校創立120周年を祝う会開催。
1990	平成 2年 2月24日 4月 1日	■ 大間中学校体育館落成。
	4月 1日	■ 役場第2、4土曜日閉庁となる。
	4月	■ 東北初の電波式の灯台完成（大間崎）。
	7月11日	■ 大間原発の用地買収スタート。
	9月29日～30日	■ 国際姉妹都市締結10周年で台湾虎尾鎮へ行政視察団訪問。
1991	平成 3年 4月 1日 6月30日	■ 灯台守70年の歴史に幕（大間埼灯台無人化）。
	6月30日	■ 大間・戸井 姉妹町締結20周年記念式典。
	8月 1日	■ 大間婦人消防クラブ結成。
	9月 2日	■ 大間病院新築落成式。
	9月22日	■ 第1回大間町健康まつり。
	9月24日～25日	■ 姉妹町・虎尾鎮 訪問団来町。
1992	平成 4年 2月 3日 4月 1日	■ 一部事務組合下北医療センター国民健康保険「大間病院」完成。
	4月 1日	■ 町社会福祉協議会が法人化へ。
	9月11日	■ 大町桂月歌碑除幕式（西吹付山山頂）。
	11月 3日	■ 町制施行50周年式典。
	11月29日	■ 奥戸婦人消防クラブ結成式。
1993	平成 5年 1月30日 2月21日	■ 大間町役場、週休二日制実施。
	2月21日	■ 大間中校舎新築落成式典。
	4月 1日	■ 町の新会計システム稼働。（県内初の金融機関とのオンライン化）。
	8月27～29日	■ 大西翼さん（大間小）全国小学校陸増競技大会400Mリレー第1位（青森県代表）。
	11月10日	■ 大間町特産品加工保管施設完成。
	12月 5日	■ 大間町女性団体連絡協議会結成。
1994	平成 6年 3月20日 5月13日	■ 大間町畜産飼料展示館完成。
	5月13日	■ 大間病院人工透析室開設。
	6月26日	■ 奥戸中校舎新築落成式典。
	7月14日	■ 豊国丸慰霊祭（五十回忌）。
	10月30日	■ 大間高等学校独立昇格20周年、定時制創立45周年記念式典。
1995	平成 7年 1月25日 4月 1日	■ 大間町畜産物加工センター完成。
	4月 1日	■ 大間消防分署が署に昇格する。
	4月 1日	■ 大間町漁業活性化センター使用開始。
	4月14日	■ 大間町斎場「やすらぎ苑」完成。
	8月30日	■ 電源開発(株)が大間原発ATR実証炉建設計画の見直しを町に申し入れ（ABWR商業炉建設計画へ）。

大間町〔沿革〕		
1995	平成 7年 11月 24日	■ 奥戸小学校創立120周年記念式典。
1996	平成 8年 1月 4日	■ 町の総合住民情報システム稼働(住民票等コンピュータ交付)。
	3月 26日	■ 漁場監視システム完成。
	3月 28日	■ 「大間町クリーンセンター」一般廃棄物最終処理場完成。
1997	4月 1日	■ 防災行政用無線システム開局。
	12月	■ 大間港北防波堤北灯台新設。
	平成 9年 4月 8日	■ 町立幼稚園園舎新築、竣工式典。
	5月 15日	■ 「北通り種苗育成センター」「北通り製氷施設」竣工式典。
	6月 10日	■ 知事とのふれあい談義開催される。
1998	平成10年 9月 26日	■ 奥戸漁港(小奥戸地区)新設起工式。
	11月 3日	■ 大間中学校創立50周年記念式典。
	平成10年 3月	■ 大間崎に「まぐろ一本釣りの町」モニュメント完成。
	3月 27日	■ 北通り総合文化センター「ウイング」開館。
	4月 1日	■ 特別養護老人ホーム「くろまつ」運営開始。
1999	平成11年 7月 5日	■ 奥戸中学校創立50周年記念式典。
	12月 15日	■ 大間消防署へ高規格救急自動車導入。
	平成11年 6月 22日	■ 第1回ナイターソフトボール大会開催。
	10月 10日	■ 第1回大間町福祉大会開催。
	平成12年 4月 3日	■ NHK朝の連続テレビ小説「私の青空」放送。
2000	4月 1日	■ 介護保険制度開始。
	6月	■ ゴミ分別収集開始。
	12月 30日	■ テレビ朝日土曜ワイド劇場「北の果てにて」放送。
	平成13年 1月 5日	■ 大間まぐろが築地市場で史上最高値「2,020万円」。
	4月 30日	■ 木谷卓也さんボクシング日本スーパーフライ級王者に。
2001	6月 30日	■ 大間・戸井 姉妹町締結30周年記念式典。
	10月 24日	■ 第1回おおま超マクロ祭開催。
	平成14年 4月 1日	■ 学校完全週5日制導入。
	8月 5日	■ ムダマハギ舟で手漕ぎにより津軽海峡横断。
	10月 20日	■ 竹内正哲さん技能五輪全国大会「構造物鉄工」の部第1位獲得。
2002	10月 26日	■ 大間高等学校定時制課程閉校式典。
	11月 3日	■ 大間町町制施行60周年記念式典。
	12月 1日	■ 大間町指定ゴミ袋使用開始。
	平成15年 4月 1日	■ 学校週休2日制開始。
	6月 19日	■ 竹内正哲さん技能五輪全国大会「構造物鉄工」の部銀メダル獲得。
2003	7月 13日	■ 第1回町民テニス大会開催。
	平成16年 1月 15日	■ 本州四端協議会設立。
	5月 6日	■ 大間病院リハビリテーション科開設。
	8月 18日	■ 泉浩選手 アテネオリンピック男子90kg級銀メダル獲得。
	9月 3日	■ 大間・戸井姉妹町交流大会開催。
2004	11月 30日	■ 大間・戸井 姉妹町締結33年の歴史に幕(戸井町、函館市と合併)。
	12月 3日	■ 第1回青森県肉用牛枝肉共進会でA5ランクで優秀賞獲得。
	平成17年 3月 15日	■ 北通り3町村合併協議会設立。
	3月 29日	■ 姉妹町・虎尾鎮 訪問団来町。
	9月 9日	■ 泉浩選手 世界柔道選手権90kg級金メダル獲得。
2005	12月 2日	■ 第2回青森県肉用牛枝肉共進会でA5ランクでチャンピオン賞獲得。
	平成18年 4月 1日	■ 役場新住民情報システム・新水道システム運用開始。
	4月 30日	■ 「大間町の合併について意思を問う」住民投票実施。
	平成19年 1月 4日	■ 新春ドラマスペシャル「マクロ」放送。
	3月 10日	■ 大間小学校校舎完成。
2006	4月 1日	■ うみの子保育園(下手浜・奥戸保育所を統合)新築開園。
	6月 1日	■ 「大間まぐろ」商標登録。
	7月 2日	■ 弁天島の一部を購入。
	平成20年 1月 27日	■ 大間小学校音楽部「文部科学大臣奨励賞」受賞。
	2月 8日	■ 交通死亡事故ゼロ10年達成(3月21日記念式典)。
2007	2月 24日	■ 泉浩選手 全日本柔道体重別90kg級優勝。
	3月 12日	■ 大間小学校体育館完成。
	4月 6日	■ 泉浩選手 柔道ドイツ国際90kg級優勝。

2008	平成20年 4月 23日	■ 大間原子力発電所原子炉の設置許可。
	5月 27日	■ 大間原子力発電所工事計画(第1回)認可、着工。
	11月 29日	■ 奥戸中学校創立60周年記念式典。
2009	平成21年 1月 31日	■ 大間小学校校舎落成式・創立135周年記念式典。
	11月 30日	■ 大間小学校グラウンド完成。
2010	平成22年 4月 30日	■ 下手浜児童公園開園式。
	10月 15日	■ 大間町商工会設立50周年記念式典。
2011	平成23年 3月 11日	■ 東日本大震災により、大間原発建設工事休止。
	4月 1日	■ 全国瞬時警報システム(J-ALERT)供用開始。
	9月 1日	■ 地上デジタル放送用アンテナ(材木地区)運用開始。
2012	12月 21日	■ アナログ放送終了。地上デジタル放送開始。
	平成24年 2月 2日	■ 猛吹雪により各地で交通障害が発生。
	4月 1日	■ 大間町奥戸交流館開館式。
2013	4月 1日	■ 大間町子育て応援医療給付事業により医療費無償化開始(0～15歳)。
	11月 3日	■ 町制施行70周年記念式典。
	平成25年 1月 5日	■ 大間まぐろが築地市場で史上最高値「1億5,540万円」。
2014	4月 5日	■ 「大函丸」竣工記念式典(4月18日に就航)。
	4月 8日	■ 「ばあゆ」運航終了。
	10月 17日	■ 大間町観光大使に「三遊亭大楽」さん任命。
2015	平成26年 7月 21日	■ 大間町イメージキャラクター「かもまーる」弁天島で誕生。
	10月 25日	■ 大間高等学校独立昇格40周年記念式典。
2016	平成27年 3月 7日	■ 大間町健康づくり宣言。
	3月 16日	■ 大間町観光大使に「田畑智子」さん任命。
	8月 14日	■ 「奥戸の山車行事」が青森県無形民俗文化財に指定。
2017	11月 13日	■ 大間警察署新庁舎落成式。
	平成28年 1月 3日	■ 大間町奥戸ゆうゆう館完成。
	3月 5日	■ 「みなとオアシス」登録賞授与式。
2018	8月 2日	■ 県内で初めて小学校へwi-fiを導入(大間小)。
	9月 9日	■ 下北ジオパークが日本ジオパークに認定(下北地域5市町村)。
	平成29年 1月 27日	■ 「大間の山車行事」が青森県無形民俗文化財に指定。
2019	2月 12日	■ 下北ジオパーク認定記念式典。
	3月 31日	■ 大間町商工会館完成記念式典。
	12月 7日～10日	■ 姉妹町・虎尾鎮へ訪問(町長・教育長・議長・議員・職員)。
2020	平成30年 6月 27日	■ 姉妹町・虎尾鎮 訪問団来町。
	9月 9日	■ 伊藤咲花さん(大間中)キックボクシングbig bang 51kg級タイトルマッチ チャンピオン。
	9月 24日	■ 大間町役場新庁舎落成式。
2021	9月 25日	■ 防災行政用無線デジタル化へ(個別受信機全戸配布)。
	11月 24日	■ 伊藤美咲さん、竹重志芳さん(大間中)全国書画展覧会書の部 特選。
	12月 14日	■ 大間町女性団体連絡協議会設立25周年記念式典。
2022	平成31年 1月 5日	■ 台湾「日本東北遊楽日2018」で大間町をPR(大間高校めんちょ活動部)。
	3月 25日	■ 大間まぐろが築地市場で史上最高値「3億3,360万円」。
	3月 27日	■ 奥戸小学校特別教室棟完成。
令和元年	4月 1日	■ 竹重志芳さん(大間中)全国海の子絵画展日本放送協会会長賞受賞。
	5月 30日	■ ご当地ナンバープレート交付開始(原動機付自転車50cc以下)。
	11月 17日	■ 大相撲力士「海真(かいしん)」表敬訪問。
2020	令和 2年 3月	■ 健康づくり宣言5周年記念公演。
	10月 31日	■ 大間崎団地木造平屋建て6戸完成。
2021	令和 3年 3月 31日	■ 奥戸中学校閉校記念式典。
	令和 4年 5月 17日	■ 奥戸中学校閉校。
2022	11月 3日	■ 大間町観光大使に「福田こうへい」さん任命。
	11月 3日	■ 大間町町制施行80周年記念式典。

大間町の  
四季  
FOUR SEASONS

春



大間に春を告げる、さがさんじ、マグロのぼり、桜まつり・・・  
いろんな花が一気に咲き誇る大間の春は、海風と共に訪れます。

本州最北端マラソン大会、文化祭、音楽祭、産業祭・・・  
太平洋から昇る朝陽と日本海に沈む夕陽が一度に見られる季節です。



夏



大漁祈願祭、天妃様行列、ブルーマリンフェスティバル、  
神社の例大祭・・・本州最北の短い夏は、熱く心に響きます。

極寒の冬は、大間のマグロが最もおいしい時期。  
子どもたちは剣道や柔道で体を鍛え、郷土芸能を伝承します。



祭り  
FESTIVAL



大間稲荷神社例大祭

材木稲荷神社例大祭



奥戸春日神社例大祭

天妃様行列

文化  
CULTURE



郷土芸能保存会発表会

保存会発表会

大間町柔道大会

大間町剣道大会

サウンドフェスタ 大間町音楽祭

秋

冬

下北半島国定公園  
大間崎

本州最北端の大間町を訪れたら、必ず立ち寄って欲しいのが大間崎。「こゝ本州最北の地」の碑と「マグロ一本釣りの町大間」のモニュメントは、最果て感漂う撮影スポットです。北海道の汐首岬まで直線距離で17.5キロメートル。大間崎灯台がそびえる弁天島の向こう側、晴れた日には函館市街地を間近に見ることができます。

津軽海峡の荒波と、最北の厳しい自然の中で生きる大間の人たちは、イベントが大好き。「大間町ブルーマリンフェスティバル」は、町を代表する一大イベント。フェスティバル伝統の舟競走大会では、高校生以上の男女別1組でコースを懸命に漕ぎ、賞金をかけた熱いバトルを展開します。津軽海峡海鳴り太鼓、大間YOSAKOIソーラン、歌謡ショー、戦隊ショー、マグロ解体ショー、マグロ刺身の無料配布など、毎年大盛況です。夕暮れ時には盆踊り、夜には大曲の花火師による花火大会が行われ、海に映る花火は、ひときわ幻想的に輝き、ゆく夏を惜しみます。



子ども議会の様子(大間中学校)

## うみの子保育園



## 大間保育園



## 大間幼稚園



## 大間小学校



## 大間中学校



## 奥戸小学校

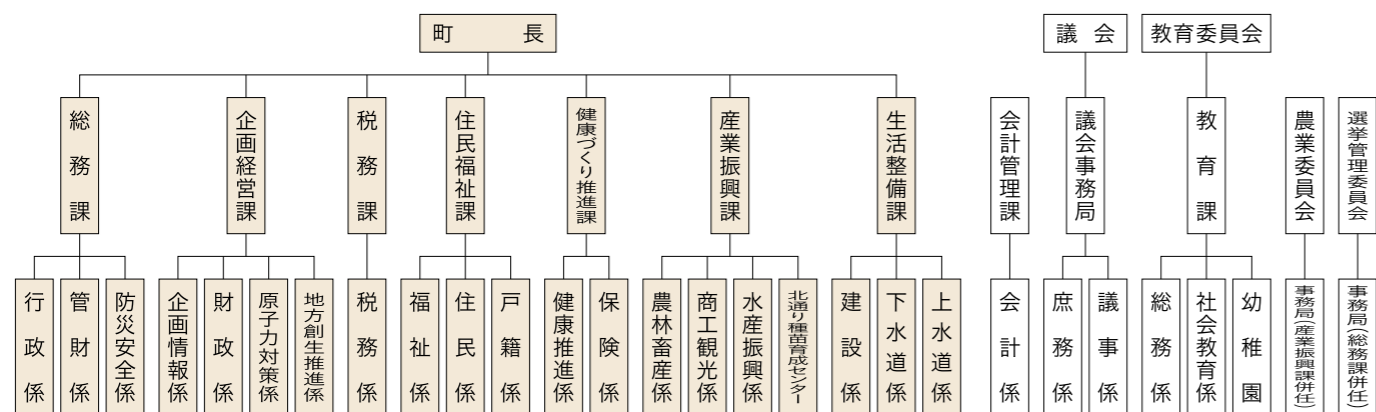




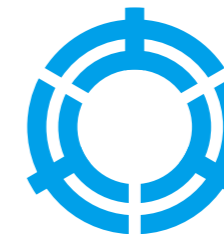
「豊かで明るく住みよい活気ある町づくり」のため、町民の声を反映し、住民と協働のもと、行政・議会運営を行っています。

町民からの、さまざまなニーズに適切に対応できる、利便性の高い環境整備を図るとともに、行政と議会とが一体となり、町民の福祉向上、地域社会の発展のため、努力しています。

大間町行政組織図



町民憲章・  
町の鳥花木  
SYMBOL



大間町の町章

大間町を構成する3集落(大間、奥戸、材木)を象徴したもので、和と融を示す。



町の花「ハマナス」

海岸のいたるところに自生し、初夏に芳香をはなつ可憐な花は、郷愁をそそる甘酸っぱい果実とともに、気候風土に適す。



町の鳥「カモメ」

弁天島、津花崎をはじめ、海上に漁港に、海岸にと群れとぶ優雅な「かもめ」は自然現象に敏感で時化(しけ)を教え、豊漁を告げる海鳥。



町の木「クロマツ」

黒松の北限地である。松は古来めでたい樹木の筆頭にあげられ親しまれてきた。海風や風雪にも耐え雄雄しい中にも気品がある。

町民憲章

私達は、津軽海峡の青い海と美しいみどりの丘と、太陽に恵まれた本州の最北の地に住む大間町の町民です。

先人の力と汗の偉業をたたえ、自然をいつくしみ郷土を愛し、自覚と責任をもって、文化的でたくましく、豊かで明るく、うるおいのある住みよい町にするためにこの憲章を定め実践します。

1. 健康でよく働く豊かな町をつくりましょう。
1. きまりを守り、明るく住みよい町にしましょう。
1. 教養と文化の高い清らかな町をめざしましょう。
1. 互いに話し合う平和でなごやかな町をきずきましょう。
1. 人を愛し、まことをつくすしあわせな町に育てましょう。

大間町イメージキャラクター「かもまーる」

町の鳥「かもめ」にスペイン語で海を意味する「mar(マール)」をつけて「かもまーる」と名付けられた公式キャラクターで、平成26年7月21日の海の日で大間町の灯台がある弁天島で生まれました。町の鳥「かもめ」をモチーフに、頭に日本の灯台50選に選ばれた大間崎灯台を乗せ、お腹には名産品の大間まぐろをチャンピオンベルトのようにつけて、大好物の「大間のまぐろ」や、大間町の魅力をたくさんの人に知ってもらうために、元気に明るくPR活動しています。





町制施行

80  
周年

〈概要版〉

大間町勢要覧2022 令和4年10月発行

■発行・編集／大間町役場（企画経営課）

〒039-4601

青森県下北郡大間町大字大間字奥戸下道20番地4

TEL 0175-37-2111 FAX 0175-37-2478

ホームページ <https://www.town.ooma.lg.jp/>

■制作・印刷／協同印刷工業株式会社

青森県むつ市金曲1-15-8 TEL 0175-22-2231